



とめる、を創る。
株式会社 アップルパーク

2026 年7月15日

各 位

会 社 名 株式会社アップルパーク
(コード番号 164A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 山中 直樹
問合せ先 取締役管理本部長 上野 篤資
T E L 03-3901-6199
U R L <https://www.applepark.jp>

TOKYO PRO Market への上場目的の開示について

当社は、2026 年 4 月 3 日付で株式会社東京証券取引所（以下「東証」といいます。）より発出された通知「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願いについて」による要請に基づき、当社の TOKYO PRO Market（以下「TPM」といいます。）への上場目的及びその実現状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Market への上場目的

当社は、2024 年 3 月 25 日に東証が運営する TPM に上場いたしました。当社は、駐車場・駐輪場の総合プロデュースを通じて日本の自動車・自転車社会の発展に寄与するべく、TPM への上場を通じて以下の目的の実現を目指してまいります。

（１）知名度・社会的信用力の向上を活かした企業規模・業績の拡大

当社は、TPM への上場により得られる「上場会社」としての知名度及び社会的信用力を活用することで、土地オーナー様との新規取引獲得、取引先金融機関との関係強化、優秀な人材の確保・定着を図り、企業規模・業績の継続的な拡大を実現してまいります。

（２）一般市場への上場に向けた段階的な準備

当社は、TPM への上場を将来的な一般市場への上場に向けた段階的な準備として位置付け、上場会社として求められる開示体制、内部管理体制及びコーポレート・ガバナンス体制を整備・運用するための実践の場として活用しております。

2. 上場目的の実現に向けた取り組みと実現状況

当社の TPM 上場以降の上場目的に係る主な取り組み及び実現状況は、以下のとおりであります。

（１）知名度・社会的信用力の向上を活かした企業規模・業績の拡大

TPM 上場による信用力向上を活かし、関東圏を中心とした既存エリアの深耕及び大阪・沖縄・名古屋等の地方主要都市における面的展開を積極的に進め、新規事業地の開拓に取り組んだ結果、2026 年 3 月末時点での運営現場数は 1,121 箇所、売上高は上場前の 2023 年 3 月期の 4,601 百万円から、2026 年 3 月期には 5,999 百万円となりました。また、各駐車場・駐輪場の収益状況を専門部署にてスピーディーに把握し、料金最適化やデッドスペースの活用、集客施策の実施等の収益改善策を継続的に実施することで収益基盤の安定化を進めております。

（２）一般市場への上場に向けた段階的な準備

TPM 上場以降、適時開示実務の定着、半期開示及び発行者情報の継続的な作成・公表、監査法人による定期監査の各手続きへの適切な応対、並びに取締役会・監査機能の運営による内部管理体制の強化等を通じて、上場会社に求められる体制の整備を着実に進めております。今後はこれらの取り組みをさらに高度化し、一般市場の上場会社に求められる水準への引上げを進めてまいります。

3. 今後の方針

（１）今後の取り組み

当社は、一般市場への上場を目指し、上記の上場目的の実現に向けた取り組みを継続するとともに、TPM 上場により構築した経営基盤を土台として、内部管理体制及び内部統制（J-SOX 対応を含みます。）の高度化、開示体制、並びにコーポレート・ガバナンス体制の強化を計画的に進めてまいります。

（２）上場予定市場

当社は、中長期的な企業価値の向上を目指した経営を継続していく方針であり、こうした経営方針が東証スタンダード市場のコンセプトと合致していることから、現時点においては、同取引所スタンダード市場への上場を想定しております。ただし、上場予定市場は、上場準備の

進捗状況及び今後の市場制度の動向等を踏まえ、変更となる可能性があります。

(3) 一般市場への上場目標時期

一般市場への上場目標時期につきましては、具体的な時期は未定ではありますが、事業規模、内部管理体制整備の進捗状況及び一般市場の上場審査基準への適合状況を総合的に見極めたうえで、可能な限り早期の上場を目指してまいります。

なお、本資料に記載された内容は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の今後について確約するものではありません。

以 上